

**日本医療催眠学会 第6回 学術大会**

# 催眠とカウンセリング



**日時** 2018年10月14日(日)

AM10:00~PM18:00

**会場** 國學院大學 渋谷キャンパス

130周年記念五号館 2階 5202教室  
(東京都渋谷区東4-10-28)

**主催** 日本医療催眠学会

**大会長** 藤野 敬介

國學院大學、催眠療院・銀枝庵、OHTC東京

Japan Medical Hypnosis Association.

**JMHA** 日本医療催眠学会

## 第6回日本医療催眠学会 学術大会に向けて

萩原 優（日本医療催眠学会理事長、イーハトーヴクリニック）

日本医療催眠学会の学術集会も第6回目を迎えることになりました。

毎年、着実に会員数も少しずつ増えております。この様な会が継続できるのも、学会員の皆様のおかげです。学会役員を代表してお礼を申し上げます。

今回は、藤野敬介大会長のもとで「催眠とカウンセリング」がテーマです。

近代の催眠療法も古典的催眠療法から現代催眠療法へと、更に、いろいろ分化し多岐にわたっております。

演題を拝見しますと、通常の催眠療法の考え方とか手法などのタイトルは殆ど見られません。

日頃、催眠療法を実際に行っている人たちからみると、「催眠の幅の広さが感じられ」催眠療法の奥の深さと進化している事が講演から感じられると思います。

一方、未だ催眠療法を殆ど知らない、或いは、体験のみの人たちにとっては「催眠療法って面白いなあ～ こんな事も催眠なんだ」と催眠療法に抱いていたイメージとは違う点に気づかれると思います。

私も初めてお聴きする内容も多く、とても興味を持っております。

演者の皆様からのメッセージが、参加者の一人ひとりの催眠療法についての思いを新たにされる素晴らしい機会だと思います。

どうか、一日、学術集会を楽しまれ、有意義な時間をお過ごしください。

## 第6回日本医療催眠学会の開催にあたって

藤野 敬介（大会長、國學院大學、催眠療院・銀枝庵、OHTC東京）

日本医療催眠学会学術大会の開催にあたり、ご挨拶を申し上げます。

本学会は、催眠に関心をお持ちの方々幅広く門戸を開き、催眠技術の正しい習得と深化、そして普及を目的として、平成25年に発足しました。会員の皆様をはじめ、多くの方々のご賛同、ご支援を賜り、お陰様を持ちまして、昨年、節目となる第5回大会を盛況のうちに終え、学会も新たなるステージへと進み始めたところであります。

さて、第6回目となる今回の大会では「催眠とカウンセリング」というテーマを掲げることになりました。心理療法としての催眠を考えたとき、カウンセリングと催眠は決して切り離すことのできないものではありますが、施術者はあたりまえのようにカウンセリングを行い、催眠とのかかわりについて深く考えることはあまりないように思われます。

その辺りを、登壇者の皆様からのご講演、ご発表、ご報告から大いに学びながら、ご出席の皆様と一緒に考えていければ嬉しく存じます。

「平成」最後の大会を、どうぞお楽しみください。

## 小児医療と医療催眠

横地 真樹（やまびこ小児科クリニック）

### 【概要】

生まれ来る命と去りゆく命、療法に携わるのが小児科医です。

その命の現場にいと、生きるとは？ 魂とは？ ということを考える機会が多くありました。

色々探るうちに巡り合ったのが催眠療法です。

催眠療法の理論を知ること、病気の本当の原因や解決法さえ自分の中にあり、自分の中から湧き上がる想いに任せれば、自分の人生も自分らしく歩いていけると知りました。

その理論を簡単にお伝えします。

### 【本文】

医学部で習う医学は西洋医学だけですが、それ以外にも医学はたくさんあります。

西洋医学は命を助ける医学であり、それ以外は日々の不調をよくする医学です。

催眠療法、その中でも医療に生かすための「医療催眠」は日々の不調をよくする医学の一つです。

自分の心の中には意識と無意識があり、無意識の奥底に無限に存在する情報が、我々の心身行動に影響を与えています。

悩みや病気の原因や対処法さえ自分の無意識に入っており、それを意識に引き上げて改善を目指すというのが、催眠療法です。

私は小児科をやる中で、子供の病気は家族全体で解決する課題であると思うようになりました。実際に催眠療法を小児医療にどう活かしているのかをお伝えし、又催眠療法と相性のよい音響療法についても多少紹介いたします。

## 内面に直接働きかけるサイマティクス / 病気と争いのない世界を創る東洋医学の智慧

石原貴司 (セラピーオフィス ラ・サルテ)

### 【概要】

素粒子の振動、思考や感情を生み出す脳の電気信号などに「音と振動」で直接働きかけるサイマティクス。意識の蓋を開く催眠と、またそれによるカウンセリングをより安全に円滑に行えるようサポートできるサイマティクスの可能性をご紹介します。また東洋医学から観た現代病の真因やその対処法、病気や争いのない世界を創るために臨床において行えるアドバイスなどについてお話しさせていただきます。

### 【本文】

スピリチュアリズムが認知され始めた昨今、ネット上では遠隔治療やヒーリング、スピリチュアルセッション、霊能力などの言葉が氾濫しています。実際に存在すると考えられますがまだまだ未知の領域であり、そのほとんどは副作用や誤作用時のリカバリー方法までは確立されておらず、危険をはらんでいるのも事実ではないでしょうか。サイマティクスはこのような見えないエネルギーをより安全にコントロールできる可能性を秘めています。

また催眠やヒプノセラピーなどは頭意識の蓋を開くため、行う場のエネルギーが安定し安全であることが好ましいはず。このような場のエネルギーを科学的機器によって浄化安定することができ、且つ内から意識の誘導を行うサイマティクスは催眠やカウンセリングに有効な補助となるでしょう。

話題は変わりますが、多くの方が感じておられる生きにくさの原因、現代病の真因、見落としがちな健康アドバイスなどもご紹介します。

## 脳疲労が消える最高の休息法「マインドフルネス&コーピング」

橋元 慶男 (産業保険総合支援センター)

### 【概要】

ストレス対処法としてのMindfulness & Copingです。マインドフルネスとは、日本の禅のような精神統一の手法であり、ありのままの自分を取戻して、心を安定させる「ストレス対処法」である。コーピングは心理療法としての手法で、自分自身をモニタリング (客観視) し、心身を安定させる「ストレス対処法」である。

### 【本文】

人の命をむしばむ「キラ-ストレス」に対して、世界で注目される2つの最新「キラ-ストレス対策」としての「マインドフルネス」と「コーピング」は最先端のストレス解消法である。「脳疲労」が消える7つの休息法として、①マインドフルネス呼吸法、②ムーブメント瞑想、③ストレスで体調がすぐれない時の「ブリージングスペース」、④思考のループから脱したい時の「モンキーマインド解消法」、⑤怒りや衝動に流されそうな時の「RAIN」、⑥身体に違和感や痛みがある時の「ボディスキャン」、⑦他人へのマイナス感情がある時の「メッタ」等の休息法の理論と実践をする。

## 深く本質的な癒しをもたらす全人的アプローチと生命意識の重要性について

叶 礼美 (一般社団法人国際生命意識協会 / 米国認可登録ワンネスインスティテュート)

### 【概要】

人生で起きる様々な出来事にはたくさんの宝物が眠っている。私たちは病に至ると、なぜこんなことにと愕然として嘆き、理由や意味を問う。回復の鍵となるのは「何がバランスを欠いているのかに気づき、変化させる」ことであり、病をもたらす宝物とは「そのような体験がなければ得られなかったであろう学びを得て、本質的な力を取り戻すこと」にあると考える。国内外の事例をもとに、深く本質的な癒しをもたらす全人的アプローチと生命意識の重要性についてお話しさせていただきます。

### 【本文】

人は多次元的存在である。その内側ではすべての構成要素が有機的につながり小さな全体を構成しており、外側の世界とも有機的につながりあい、相互に影響しながら大きな全体を構成して生きている。存在とは全体の一部であり、互いの一部である。人一人というレベルの恒常性と調和とを考えると同時に、この多次元性、一体性、相互作用を無視することはできない。人の内に起きる深く本質的な癒しは、均衡が崩れた部分が均衡を取り戻し、全人的に調和を取り戻したときに起きる。同様に世界が調和を取り戻す鍵とは、一人一人の「意識」と「選択」が生命全体を構成することに気づき、生命を肯定し調和する方向に向かうことであると考え。

1 | 臨死体験からの深遠な気づき 2 | 鍵となるのは見えない力 3 | 肉体 (体) ・感情 (心) ・思考 (頭) ・霊性 (魂) の全レベルにすばやい解放・変容をもたらす英国保険適用の自然療法クリスタルアキュパンクチャー®と催眠療法 4 | 高次意識と共に進む統合セラピーにおける各種療法の組合せ方 5 | ヨーロッパにおける活動事例・パーキンソン病と脳挫傷後遺障害の劇的な改善と催眠内容 6 | 深く本質的な癒しをもたらす全人的アプローチと生命意識の重要性 について発表させていただきます。

## 睡眠中の脳波

志賀 一雅（脳力開発研究所）

### 【概要】

睡眠中の脳波を連続で観察した。これまで睡眠中の生理現象はいろいろ報告されているが脳波の連続計測は見当たらない。理由は、通常使う臨床脳波計は長時間の連続計測や分析に適さない構造になっている。そこで本研究は長時間計測できるニューロフィードバック装置の脳波分析機能を利用して、睡眠中の脳波の分析を試みた。それによるとθ波やδ波はあまり観察されずにほとんどがα波であり、催眠状態の脳波と似ていた。

### 【本文】

本実験に用いたニューロフィードバック装置は脳力開発研究所のアルファテック7Gで、ノートPCと2チャンネルの小型インターフェイス及びセンサーバンドで構成されている。電極配置はFp1とFp2、リファレンスはA1、アース電極はFp1とFp2の間の単極誘導法を採用した。この計測システムに、USBカメラとマイクを接続して、睡眠中の寝相や寝言、イビキも脳波と共に収録でき、REMやNon-REMの判定に利用した。

被験者は、アルファテック7G所持のユーザーにも依頼し、少なくとも3～5回の計測を行い、共通点と相違点を抽出して検討した。特に注目すべき結果は、6年間も睡眠時間が僅か45分のショートスリーパーの睡眠中の脳波で、標準の8時間も寝る人との相違が殆どないこと、むしろ覚醒時の脳波にかなりの違いがあり、催眠時の脳波に似ていた。また寝付きが悪いと思っても、実はすぐに眠っていることなども含めて報告する。

## 「祈り」とは古からの魂の想い～受け継がれた命は叶えられた祈りそのもの

玉祇 紗羅（磬笛Artist）

### 【概要】

遙か「いにしえ」古代縄文期における祭礼の最初に響く磬笛は天と地を繋げ、神様に降りてきていただく為の御神器と伝えられており、その高周波倍音によるヒーリング効果は魂の解放に繋がることも云われております。人々は祭礼を通して今、ここにいる私たちを想い「貴方がこの世に生まれて欲しい」と願ったからこそ貴方が生まれ、証として貴方が存在するのです。古の人々の魂の想い、それは貴方自身の過去生の魂の想いなのです。

### 【本文】

「人々は何故に祈り、何を願っていたのでしょうか」その願いは叶えられたのでしょうか。古代縄文時代に想いを馳せてみてください、、、。夕暮れの静かな祈りと舞い～夜通しの乱舞～夜明けまで祈りで朝を迎える、、、。初めの磬笛の音霊により、皆様を古代祭礼「古祀」（こし）へといざないます。会場はそのまま祭礼場所となり、貴方は〈覚醒への祈り〉祭礼参列者となるのです。それは〈過去と現代〉を繋ぎ、人々の想いはまた〈未来〉へと受け継がれてゆくのです。いにしえの人々は今も貴方を想っています。そして貴方の目の前にある全てが、想いがあるからこそ、今ここにあるのです。貴方に繋がる遙か遠い幾千年の時代を生きた古の人々の想い、、、それは貴方自身の過去生の想いでもあるのです。そうです、古の人々の願いは貴方の想いで叶えられているのです。だから今、私達は祈るのです。その想いは未来にまた繋がっていくのです、、、。

## 自己否定と罪悪感の強いクライアントに対する事例発表

佐久本 純子（ワークルームマリン）

### 【概要】

幼少期からの家族環境・影響からと推察される心理的な状態により、日常の行動や他者とのコミュニケーションに苦痛を感じ始めたなどの問題を持つクライアントに対するセッション事例を報告する。

### 【本文】

家族との関係もあまり良好でなく、仕事や対人関係にもストレスを感じる30代独身女性クライアントの事例。現在の状況から変化したいと強く感じているが、夢や目標も明確に感じられず、どうなりたいかの先の展開も想像できず、無力感を感じていた。

そのクライアントに、コーチング、ティーチング、催眠の3つの手法を取り入れたセッションを行った。それにより、強いビリーフに伴う、固定化した心理状態に変化を起こし、自信、自己肯定感、他者に対する自己表現力などを身につけ、家族関係の変化、対人関係の改善が見られた。その事例を報告する。





## プログラム

9:30	開場 ～ 受付	
10:00～10:05	萩原優	日本医療催眠学会理事長 挨拶
10:05～10:20	藤野敬介	開会の辞
10:25～10:50	横地真樹	小児医療と医療催眠
10:55～11:45	石原貴司	内面に直接働きかけるサイマティクス / 病気と争いのない世界を創る東洋医学の智慧
11:50～12:15	橋元慶男	脳疲労が消える最高の休息法 「マインドフルネスとコーピング」
12:15～13:30	… 昼食 (理事会) …	
13:30～13:45	学会総会	
13:55～14:40	叶礼美	全人的アプローチと生命意識の重要性について
14:45～15:10	志賀一雅	睡眠中の脳波
15:10～15:25	…… 休憩 ……	
15:25～15:40	玉祇紗羅	磬笛演奏 「祈り」とは古からの魂の想い ～受け継がれた命は叶えられた祈りそのもの
15:45～16:10	佐久本純子	自己否定と罪悪感の強い クライアントに対する事例発表
16:10～16:20	…… 休憩 ……	
16:20～17:50	大嶋信頼	基調講演【現代催眠の許しと癒しの仕組み】 ～ 遺伝子コードを使った外在化が教えてくれたこと ～
17:50	橋元慶男	閉会の辞
18:30～20:30	懇親会 (事前申込)	國學院大學 渋谷キャンパス 若木タワー 18階 有栖川宮記念ホール

連絡先 : 日本医療催眠学会 事務局

所在地 : 〒225-0002神奈川県横浜市青葉区美しが丘2-18-9ニューライフビル202 イーハートヴクリニック内

TEL : 045-902-7240 FAX: 045-482-7620 学会HP : <http://japan-mha.com>